

岐阜県立岐阜工業高等学校

学校長 山田 和正

学校住所 岐阜県羽島郡笠松町常盤町1700 電話058-387-4141

- 1 会の名称 学校を考える会
- 2 会の構成 委 員
- | | |
|-------|------------------|
| 岩佐 洋二 | 株式会社 岡本 常務 |
| 大橋 仁壽 | 株式会社 大垣鐵工所 取締役社長 |
| 堤 博幸 | 名古屋鉄道株式会社 笠松駅長 |
| 羽賀 和子 | 地域住民代表(元育友会副会長) |
| 前田 勸次 | 地域住民代表(元育友会会長) |
- (委員名は五十音順)
- | | | |
|-------|-------------|--------------|
| 学 校 側 | 山田 和正 校長 | 林 忠弘 教務主任 |
| | 山川 清 副校長 | 宮浦 英夫 生徒指導主事 |
| | 松原 行雄 事務部長 | 牧村 高憲 進路指導主事 |
| | 戸崎 晴雄 教頭(全) | 川井 正士 特別活動部長 |
| | 高瀬 仁士 教頭(全) | 川嶌 俊夫 工業部長 |
| | 渡邊 克尋 教頭(定) | |
- 3 会の目的 学校運営等について学校外の有識者等から幅広く意見を聞き、本校教育の改善・充実に資するとともに、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを目指す。そのため、岐阜県立岐阜工業高等学校に学校評議員を置く。
- 4 会の開催 平成20年11月8日(土) 10:00~12:30 岐阜工業高等学校 校長室
委員2名と学校側7名が出席
- 5 会の概要

主テーマ 工業高校に期待するもの

文化祭の見学

各学科・クラス・文化系部活動の発表を見学し、育友会のバザーを楽しんでいただきました。各会場では、生徒の説明に熱心に耳を傾けられ、一部の体験コーナーでは作品を受け取ってもらいました。



感想

各専門学科の特徴を活かした発表を楽しみました。一般の来訪者も多く楽しそうな姿を見て、地域に認められている学校だなと感じました。

技能五輪への出場をはじめ素晴らしい技術・技能を持った生徒が育てられていることに驚きました。この子たちがこれからの日本の工業界を背負っていくことを期待します。

昨年より、全体に活気があるように感じました。生徒のモチベーションをあげるためにも大切な工業高校の行事だと思えます。

学校の教育現状について 報告

教育実践 学校長より 第1回評議員会を受けての改善策、諸活動の報告
外部評価 教頭より 全日制・定時制 集計結果と分析、今後の課題
特別活動部 文化祭の取り組みについて

工業高校に期待するもの

- ・ものづくりに対する意欲を高める責任は、経営者（学校では校長）にあります。10年後の姿を見据えた学校経営にあたってください。
- ・今の社会現状を誰が予想できたでしょうか。大企業でさえ数ヶ月前と大きく異なっています。ロングスパンとショートスパンの事業がうまくかみ合うように、また、何が今できるか何を計画するかを見定めてください。
- ・挨拶ができる、目が輝いている、学校が楽しい、などの良い面をいっぱい見ました。将来、自分の好きな仕事をするための力を身につけたいと思って入学してくる生徒に、最善の教育を受けさせてやってください。
- ・自動化（CNC）すれば、ある程度までは誰にもできる。しかし、自分の手で作り上げるには、かなりの努力と感性が要求される。この自分の手でということが重要なのです。繰り返し訓練することの大切さも教えてください。
- ・女性の力が、これからの機械工場などにはもっと必要です。工業を目指す女子生徒も増やして欲しいものです。
- ・学校の指導する範囲（教育）と家庭の指導する範囲（躾）との区別を親にしっかりと知ってもらうとともに、学校の方針をきちんと伝えて、全ての親からの協力を得てください。
- ・「制約の中で与える自由」と「自由の中で与える制約」は、考え方の出発点は全く異なるのだが、結果的にほぼ同じ形（指導）になるといわれています。まず自由を与えてその中から制約事項を決める方が教育的だと思います。

会のまとめ

工業高校生の頑張っている姿を見ていただいたとき、「真面目な生徒が増えましたね」、「また一歩進みましたね」との評価をうれしく思います。

「今の社会や子供、親の異常な現状を回復するための特效薬はありません。急げばはずみが出ます。じっくりと生徒、親、学校のバランスをとって、未来に向けた学校教育を進めてください。」の期待に応えるよう、これからも「愛情を持って、叱り、褒め、育てる教育」に努めていきます。